

スポーツ参加の拡大に関する 資料・データ

- 高知県の子ども（0歳～19歳）の人口推移・・・ P1
- 子どもの運動習慣・・・ P1
- 子どもの体力の状況・・・ P2
- スポーツ少年団の状況・・・ P2
- 学校の運動部や地域のスポーツクラブに加入
している子どもの割合（スポーツ少年団を含む） P2
- 学校の運動部活動の状況・・・ P3
- 日常生活における歩数（1日あたりの平均歩数）・・・ P4
- 地域スポーツの状況・・・ P5
- 運動（体を動かす遊びを含む）や
スポーツが好きな子どもの割合・・・ P6
- 運動・スポーツに関心の無い人の割合・・・ P6
- 年代別のスポーツ実施率・・・ P7
- スポーツ関連イベントによる県外からの来客数・・・ P8

論点①

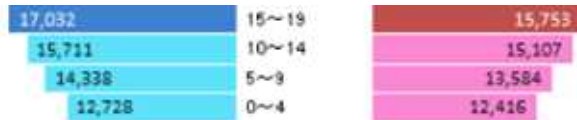
人口減や新型コロナウイルス感染症の影響により変化するスポーツ環境への対策について【共通】

- ・ 障害の有無に関わらず、身近な地域で子供達がスポーツを継続できる環境づくりについて
- ・ アフターコロナ及びWithコロナの社会においてスポーツ活動を継続する対策について

●高知県の子ども(0歳～19歳)の人口推移

国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口によると、高知県における0歳から19歳までの人口は、2020年の106,030人の推測に対し、10年後の2030年には86,776人と推測され、現状より約2割減と見込まれている。さらに、20年後の2040年には72,015人と推測され、現状より約3割減と見込まれている。

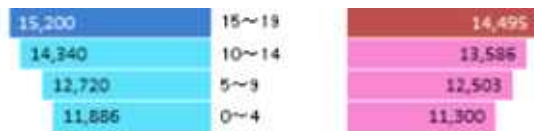
(2015年)



(0～19歳の人口)

116,669人 (男59,809人 女 56,860人)

(2020年(予測))

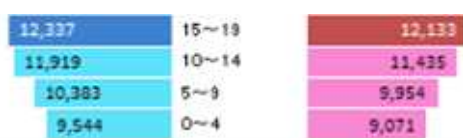


(0～19歳の人口)

106,030人 ※9.2%減(2015年比)

(男54,146人 女 51,884人)

(2030年(予測))



(0～19歳の人口)

86,776人 ※25.6%減(2015年比)

※18.1%減(2020年比)

(男44,183人 女 42,593人)

(2040年(予測))



(0～19歳の人口)

72,015人 ※38.2%減(2015年比)

※32.0%減(2020年比)

(男36,793人 女 35,222人)

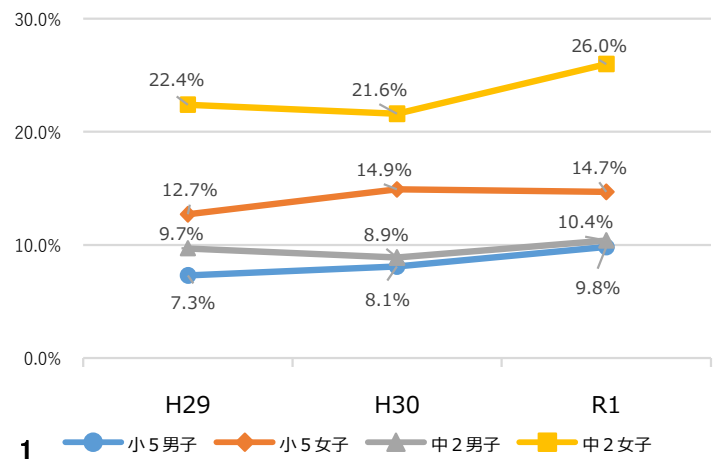
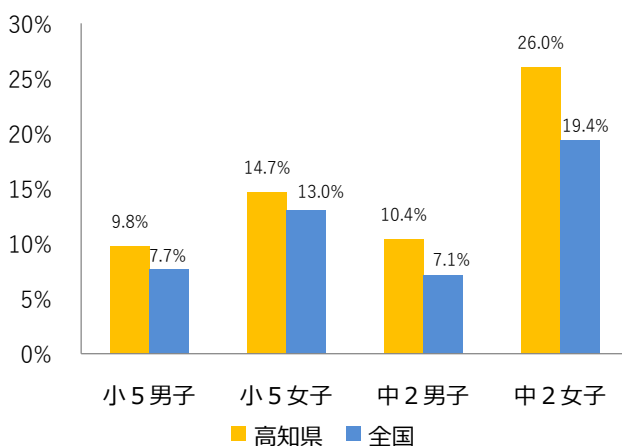
(出典:総務省 2015年国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口)

●子どもの運動習慣

運動習慣等調査では、「1週間の総運動時間が60分未満」の割合が、小・中学校男女とも全国平均を上回っている。男女の比較では、小・中学校とも「1週間の総運動時間が60分未満」の女子の割合が多い。

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合



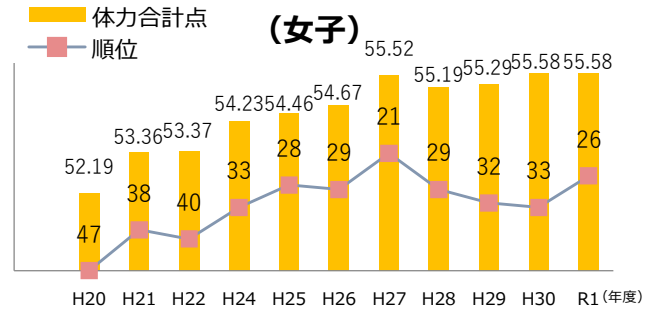
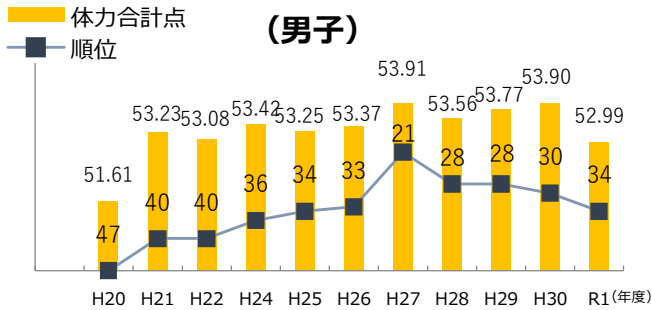
●子どもの体力の状況

平成20年度と比較すると、子どもの体力は全体的に上昇傾向にある。令和元年度の結果から、体力合計点では、小学校男子は全国平均よりわずかに低く、女子は全国平均に並んだ。中学校男子は全国平均に並んだが、女子は全国平均より低く、さらに昨年度の県平均を下回った。

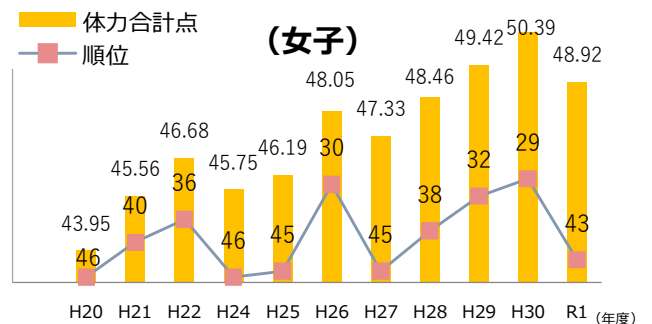
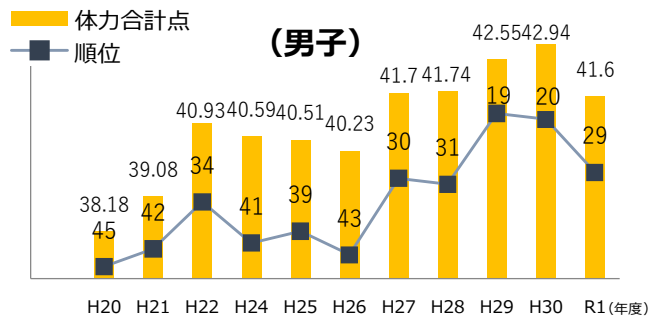
体力合計点（8種目の実技の総合点）の推移と全国順位

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
※平成23年度は東日本大震災の影響により未実施

小学校（第5学年）



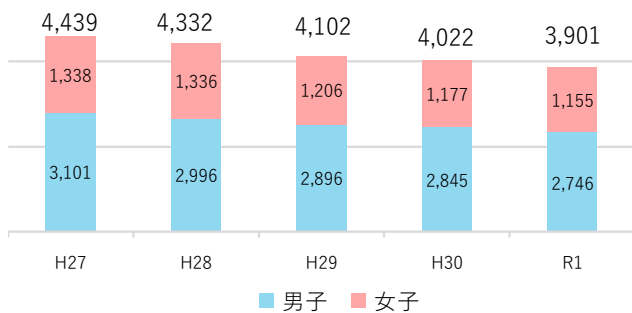
中学校（第2学年）



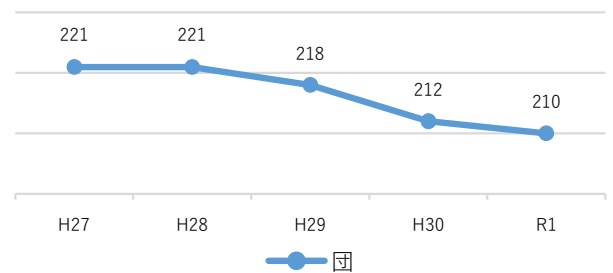
●スポーツ少年団の状況

スポーツ少年団の団員数は平成27年と比較し12%（538人）減少し、団数も減少している。

スポーツ少年団の団員数



スポーツ少年団の団数

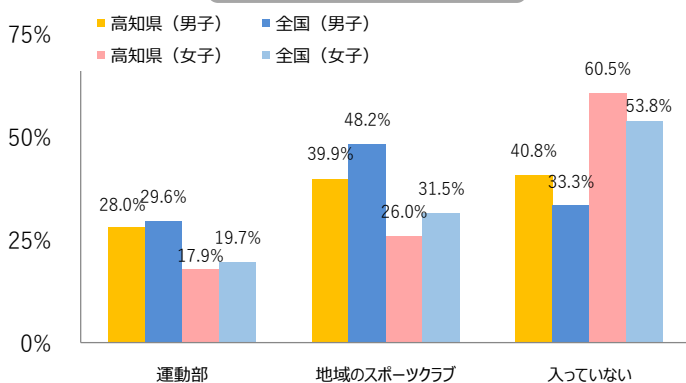


●学校の運動部や地域のスポーツクラブに加入している子どもの割合（スポーツ少年団を含む）

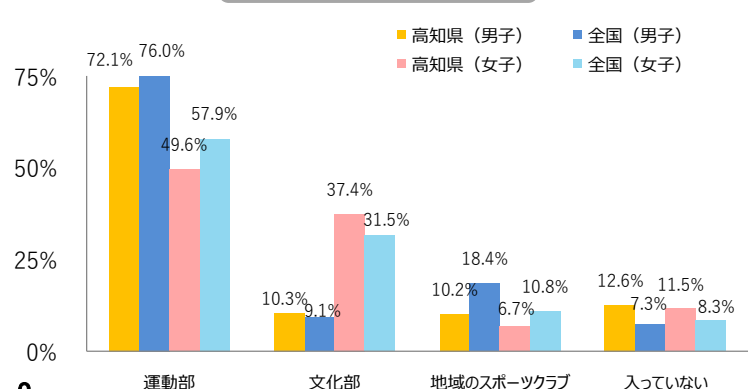
小学5年生、中学校2年生ともに、「運動部」・「地域のスポーツクラブ」に加入している子どもの割合は全国平均より低く、「入っていない」子どもの割合が高い。

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

小学校（第5学年）



中学校（第2学年）

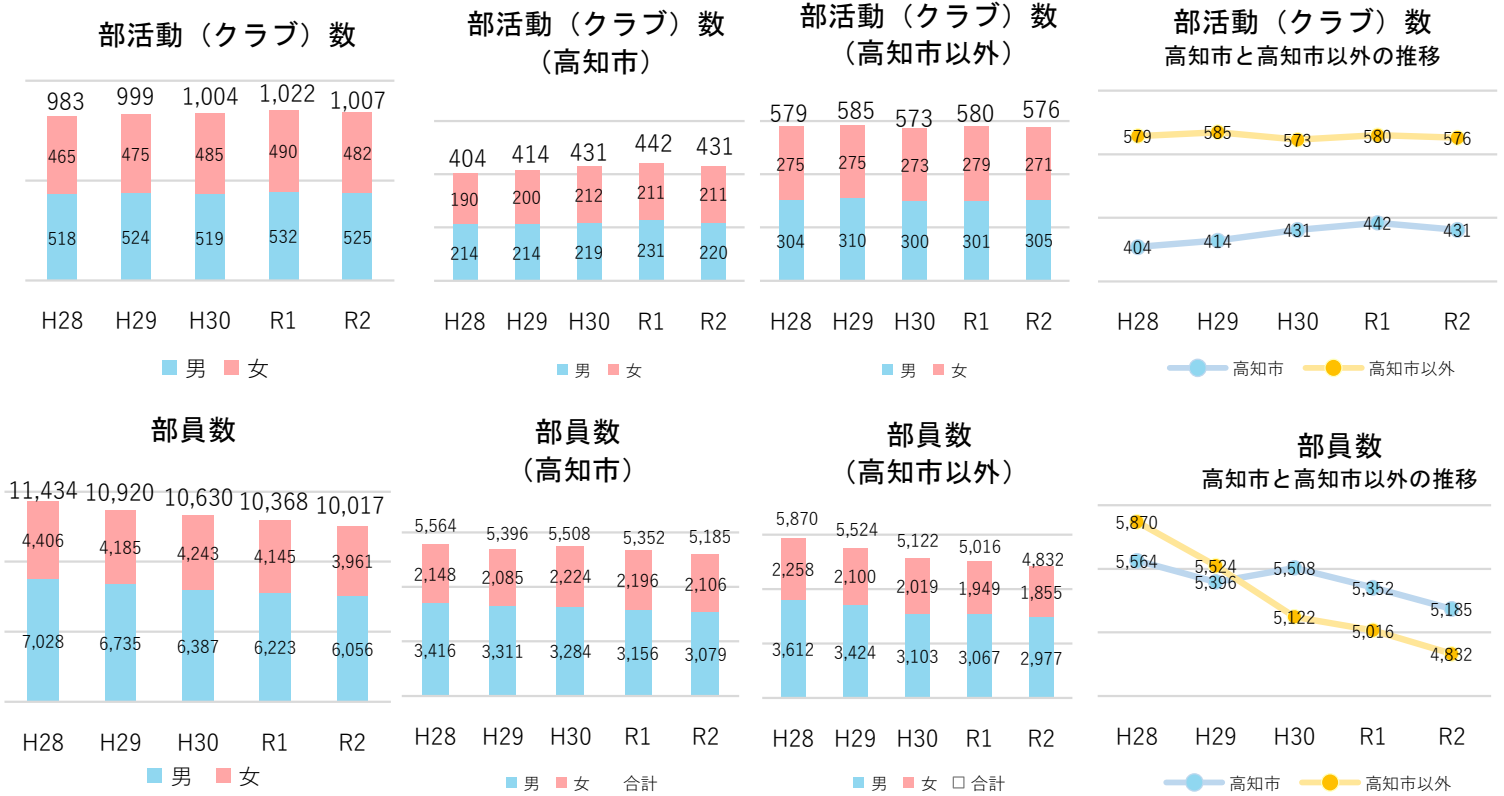


●学校の運動部活動の状況 ※R2の部活動加入率は調査中

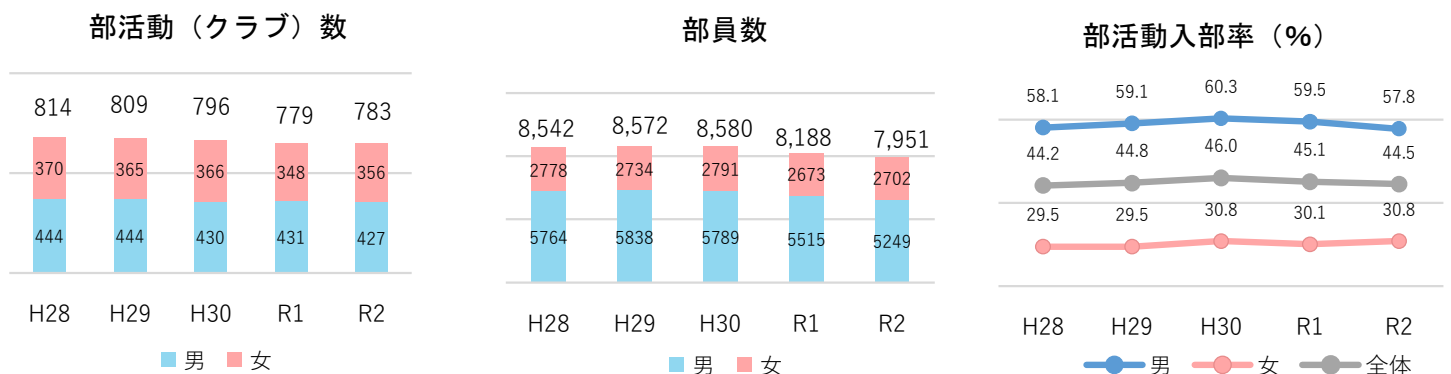
中学校の運動部活動の状況は、平成28年度と比較すると運動部活動（クラブ）数は微増しているものの、部員数は約12%減少している。また、高知市以外の部員数が、平成28年と比較し、約18%（1,038人）減少している。

高等学校では、運動部活動（クラブ）数、部員数ともに減少し、部員数は約7%減少している。

(中学校)



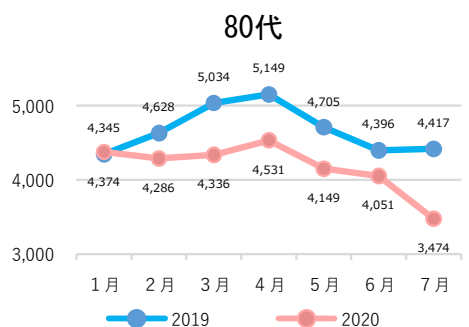
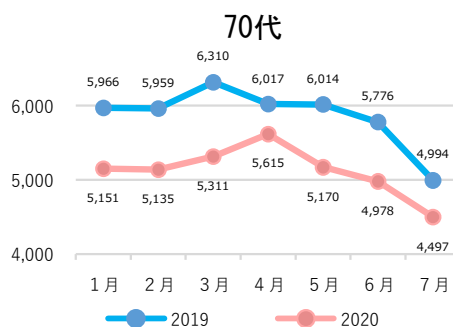
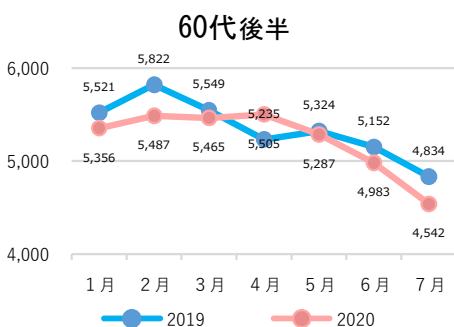
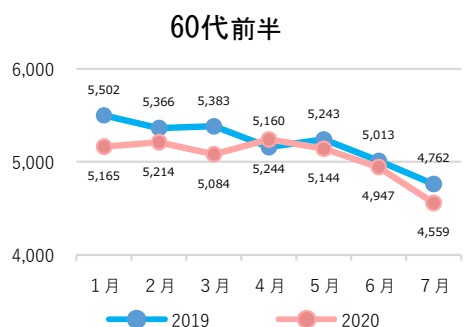
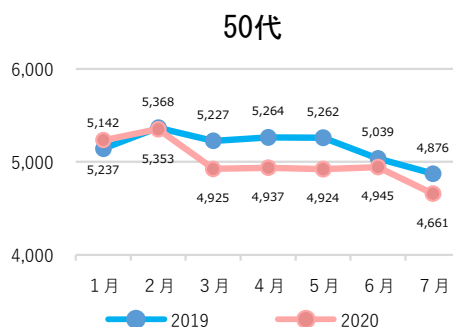
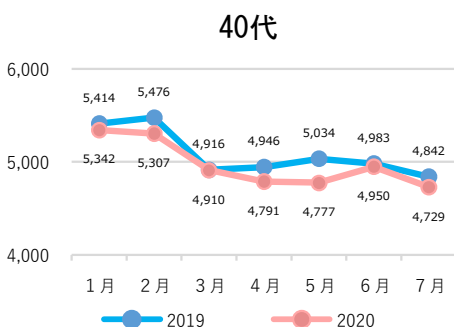
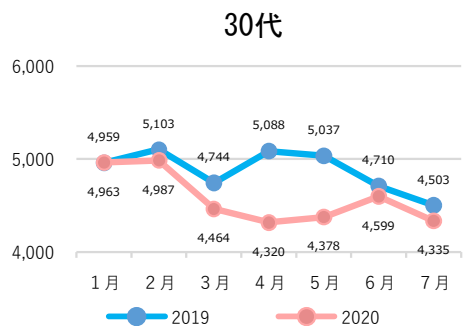
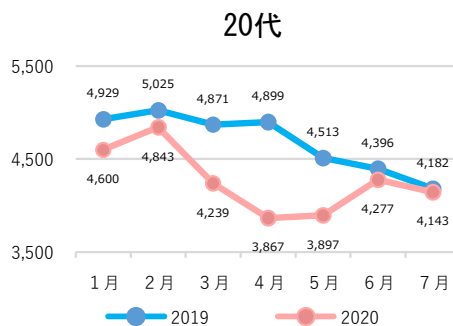
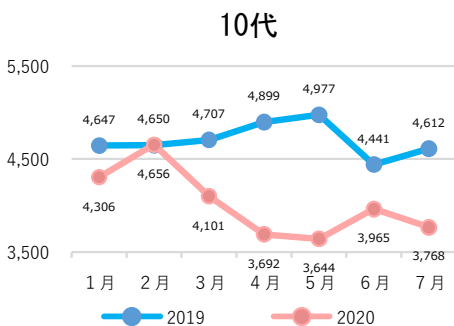
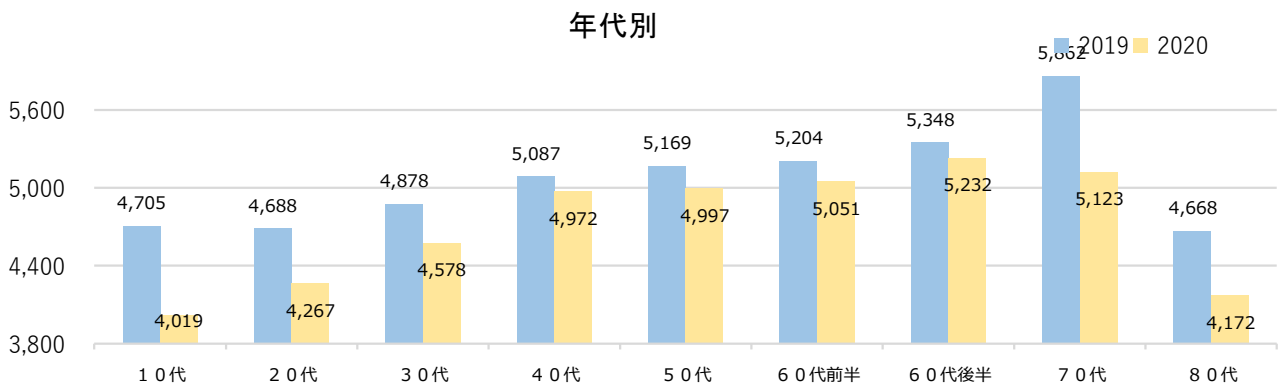
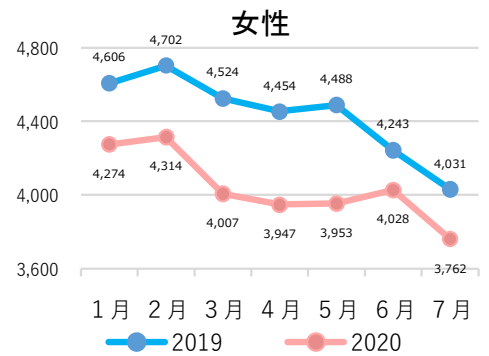
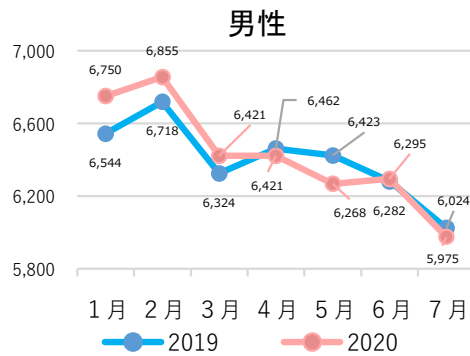
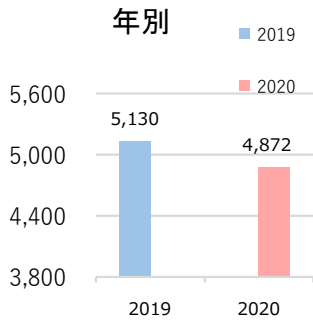
(高等学校)



●日常生活における歩数（1日あたりの平均歩数） ※データ算出期間：1月～7月の7ヶ月間

今年の日常生活における歩数は、年別比較ではほぼ前年並みであるが、性別では、男性がほぼ前年並みなのに対し、女性はその月も前年より減少している。年代別では10代20代及び70代以上の年代が他の年代に比べて前年より大きく減少している。

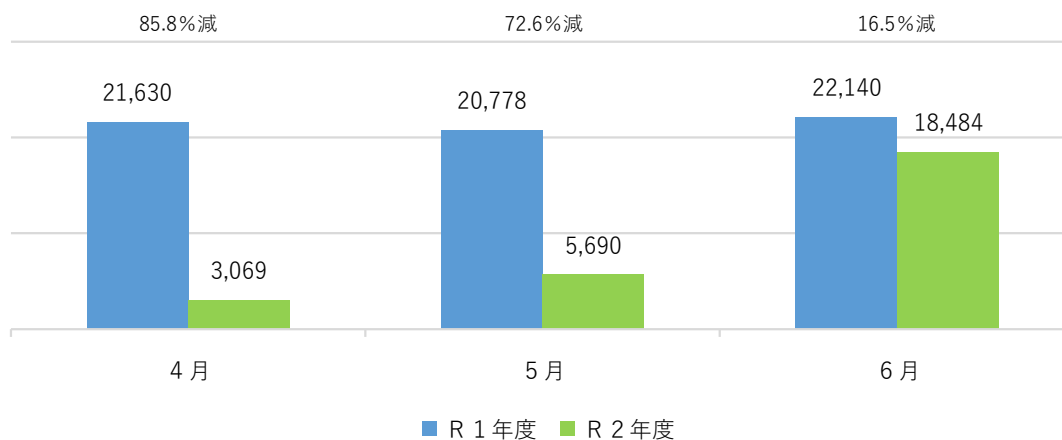
サンプル数：2019年：n＝延べ27,330人 2020年：n＝延べ49,554人
高知家健康パスポートアプリ



●地域スポーツの状況

総合型地域スポーツクラブ等（地域スポーツハブの実施主体）が開催する教室等の参加者数では、新型コロナウイルスの影響もあり4月、5月の参加者数は昨年と比べ激減しているが、6月は改善している。

総合型地域スポーツクラブ等（地域スポーツハブ実施主体：8団体）が
開催する教室等の参加者数



論点②

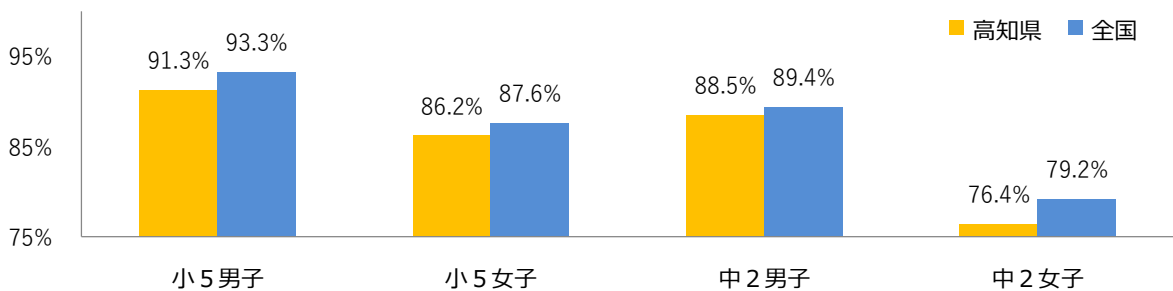
地域や職場において、運動やスポーツの効果を捉え、スポーツ参加の拡大につながる取り組みを増やすための対策について

- ・スポーツをする気にさせるために必要な対策について
- ・スポーツを通じて体力向上や健康づくり、障害者の社会参加につながる取り組みを進めるうえで必要な対策について

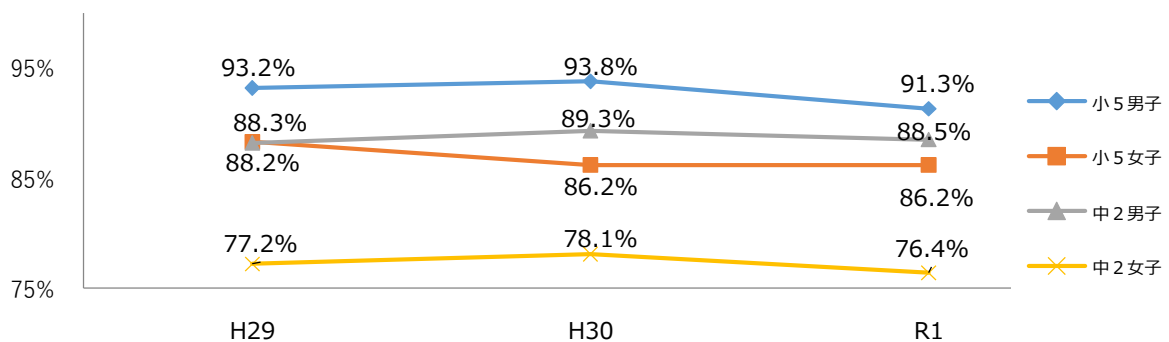
●運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツが好きな子どもの割合

運動習慣等調査では、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツが好きな子どもの割合が、小・中学校男女とも全国平均をより低い。特に中学生女子の割合が低い。

（全国との比較）



（割合の推移）

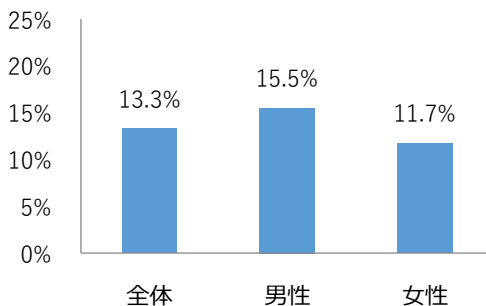


令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

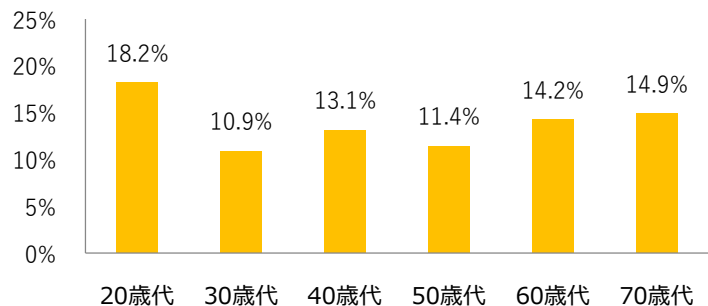
●運動・スポーツに関心の無い人の割合

運動・スポーツの関心では、全体で13.3%の方が運動・スポーツへの関心が無く、男女の比較では男性の割合が多い。年代別では、20歳代の割合が多く、30歳代の割合は低い。

（全体と男女の比較）



（年代別の比較）



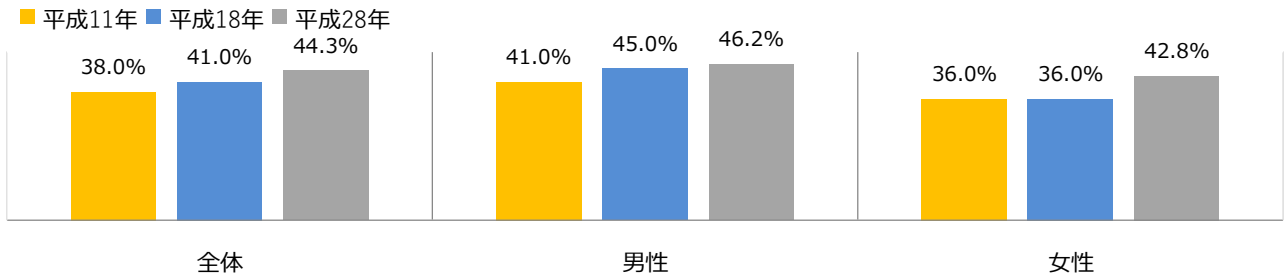
平成28年度 県民の健康・スポーツに関する意識調査

●年代別のスポーツ実施率

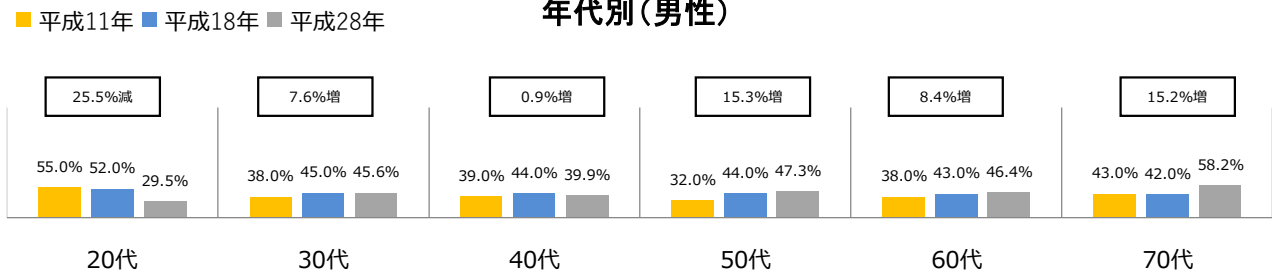
成人の週1回以上の運動・スポーツの実施率は、平成11年と比較し、全体で6.3%増加しており、平成28年の調査では全国平均を上回っている。（高知県：44.3% 全国平均42.5%）

年代別では、20代～40代の働き盛りの年代が他の年代に比べて低く、20代～30代の女性は同世代の男性に比べてスポーツ実施率が低い。

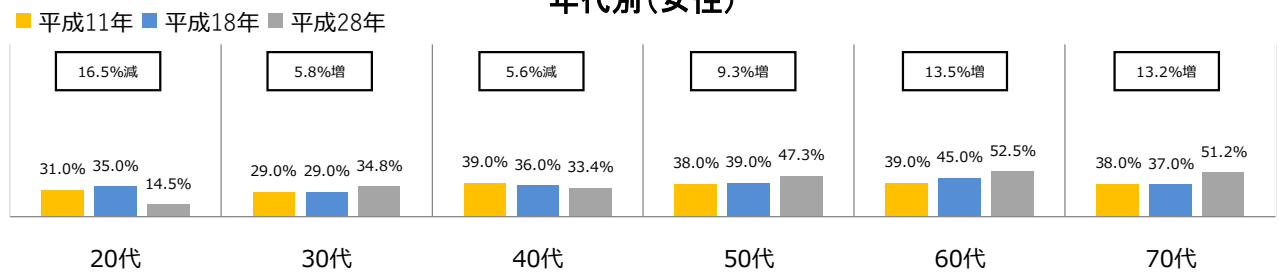
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する者の割合



年代別(男性)



年代別(女性)



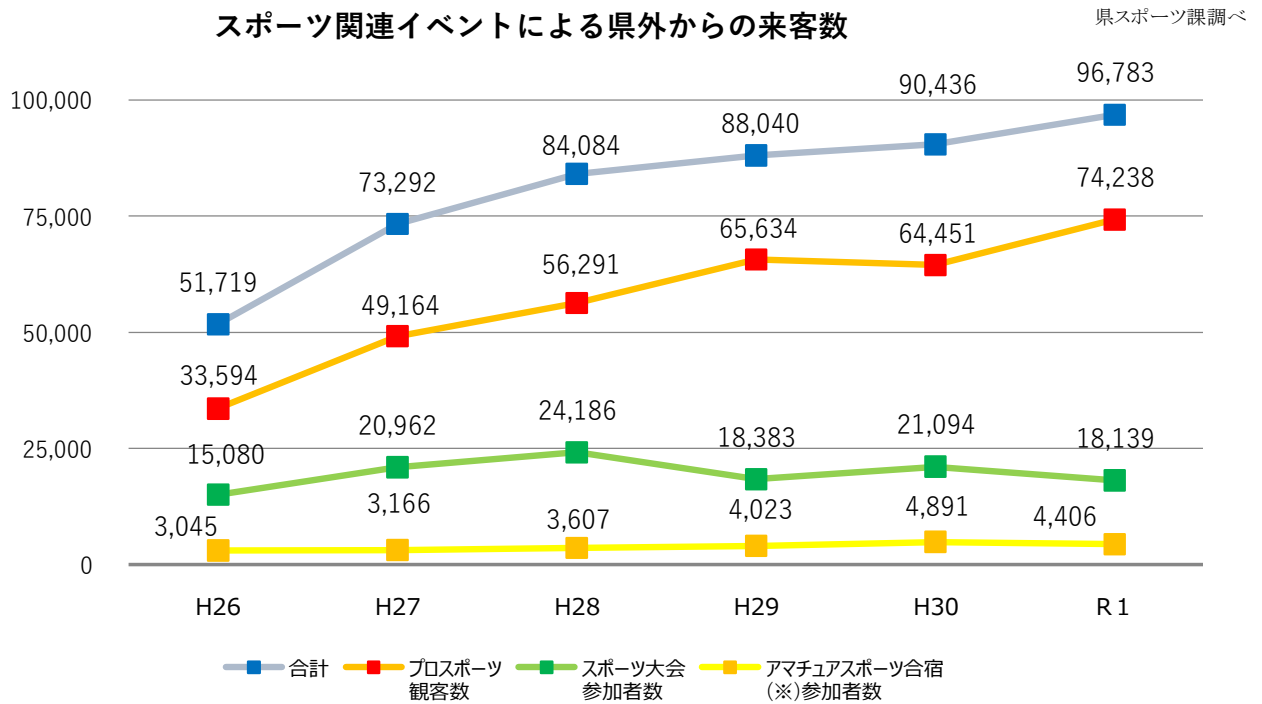
平成28年度 県民の健康・スポーツに関する意識調査

論点③

本県の特徴を生かしたスポーツツーリズムをさらに活性化させるために必要な対策について

●スポーツ関連イベントによる県外からの来客数

スポーツ関連イベントによる県外からの来客数は、平成26年と比較し、全体では187%増加している。中でもプロスポーツの観戦に訪れる県外からの来客数は220%増加している。



※アマチュアスポーツ合宿
(公財)高知県観光コンベンション協会の助成を受けた合宿の参加者数